

## XMFアップデートを使用したバージョンアップ手順書 XMFRemote編

Rev. 20230331

## 本資料について

本資料では、お客様ご自身でXMFRemoteのバージョンアップを行うための手順を記載しています。本資料は、XMFRemoteServerのデスクトップ画面に[XMFRemote最新バージョンリリースのお知らせ]が表示されたお客様が対象です。



作業における注意事項を記載します  
必ず確認のうえ進めてください



情報を記載します



## バージョンアップ前の事前確認



下記をご確認いただき、バージョンアップを行うかをご判断ください。

## クライアントPC環境



FFGSサポートタウン XMFRemoteリリースノート内「XMFRemoteClient対応表」をご確認のうえ貴社のクライアントPC(Windows/MacOS)がXMFRemoteに対応しているか事前にチェックしてください。事前にご確認ください。

## バージョンアップ所要時間



XMFRemoteバージョンアップ  
作業目安60～90分

## 注意事項



必ずXMF Server アプリ及びXMFRemote Server アプリを終了してください。

必ずセキュリティソフトを「無効」にしてください。

WindowsUpdateを実施して最新の環境にしてください。

XMFComplete(Smart)のバージョンアップ作業完了までXMFRemote Server アプリを起動しないでください。

※XMF Server アプリの単体起動につきましては問題ありません。

## 注意事項



XMFComplete(Smart)を先にバージョンアップしてください。

XMFComplete(Smart)とXMFRemoteのバージョンが異なると接続エラーが発生します。バージョンアップの順番は以下の通りです。

- 1)XMFComplete(Smart)のバージョンアップ
- 2)XMFComplete(Smart)の起動と動作確認
- 3)XMFServer(Complete,Smart)アプリの終了
- 4)XMFRemoteのバージョンアップ
- 5)XMFServer (Complete,Smart)アプリ起動  
→XMFRemoteServerアプリ起動
- 6)XMFRemote動作確認

## 1. インストーラのダウンロード

**[■ステップ1 製品情報の確認と「バージョンアップ手順」のダウンロード]**より本書をダウンロードされたと思います。

本書に従って以下の作業を実施します。

i

以下のようなポップアップが表示される場合があります。サインアップやログインは必要ありませんので[x]で閉じてください。



**[■ステップ2 アップデート対象のXMFRemoteのダウンロード]**より、URLをクリックしインストーラをダウンロードします。

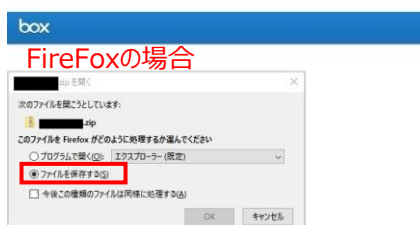
パスワードは[XMFRemote 最新バージョンリリースのお知らせ]に表示されているものをコピー&ペーストします。



※ブラウザによって英語表記の場合がありますが、動作に問題ありません。

パスワード入力後のインストーラがダウンロードされます。

FirefoxやIEでは、「保存」を選択しないとダウンロードが開始されません。

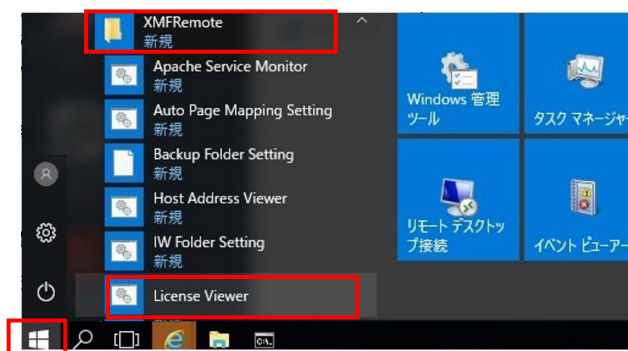


## 3. ライセンスの更新

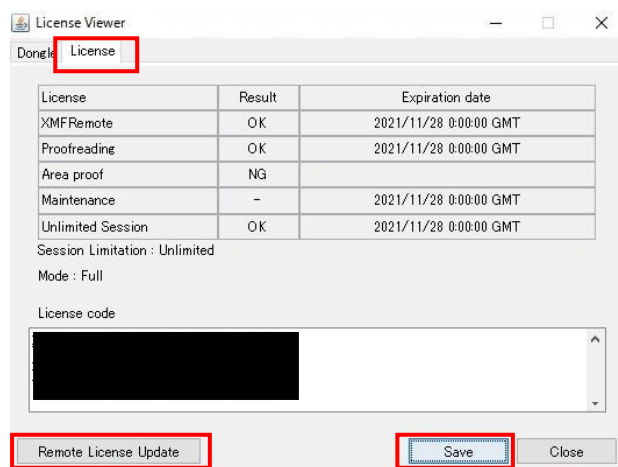
バージョンアップに必要なライセンス情報を読み込むため、XMFRemoteでLicenceViewerを開きます。

[スタート]-[XMFRemote]-[Licence Viewer]をクリック

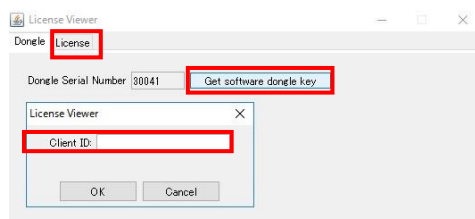
※画像はWindowsServer2016になります。



[License]タブをクリックし、[Remote License Update]ボタンを押します。

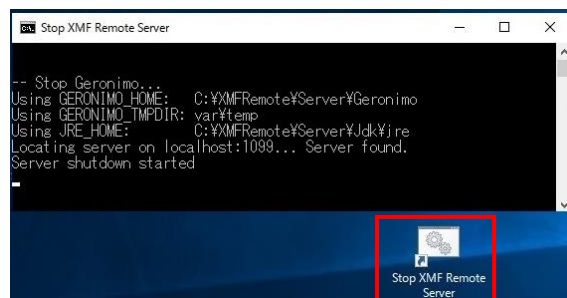


!
  
 [Client ID]欄が空欄のままの場合、バージョンアップができません。
   
 IDの表示がない場合、弊社サポートへお問い合わせください。



## 4. アプリケーションの終了

XMFRemoteのサーバーで「StopXMFRemoteServer.bat」をダブルクリックしてXMFRemoteを終了します。



XMFCComplete(Smart)のサーバーでXMFSerVerアプリを終了します。



## 5. アンチウイルスソフトの無効化

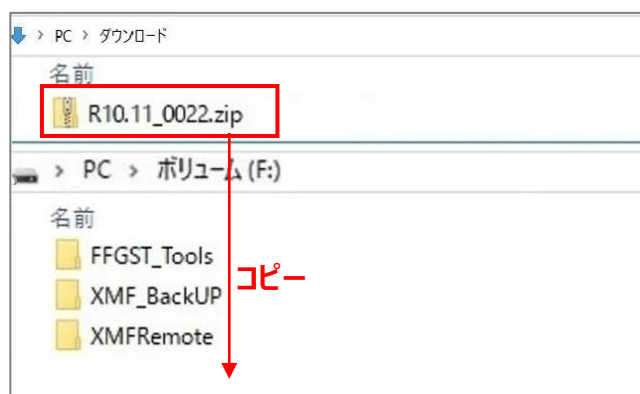
XMFRemoteServerにアンチウイルスソフトがインストールされている場合、「無効」します。



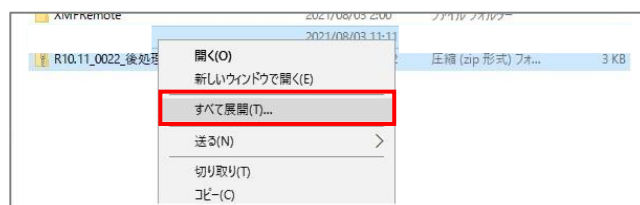
セキュリティソフトの影響でバージョンアップに失敗する場合がありますので、必ず無効にしてください。

## 6. ダウンロードファイルの解凍とコピー

ダウンロードフォルダに格納されたZipファイルをFドライブの直下にコピーします。



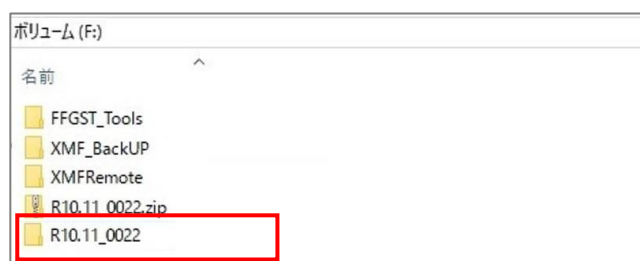
Fドライブ直下にコピーしたZipファイルを右クリックし、「すべて展開」を選んでZipファイルを解凍します。



フォルダ名は変更しないでください。  
フォルダ名やファイル名を変更すると、インストーラが正常に起動しません。

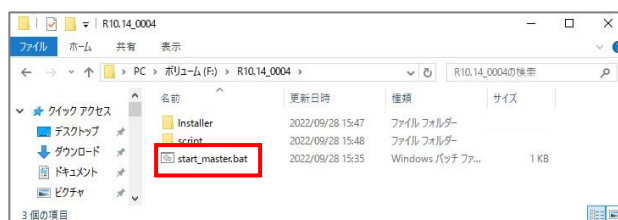
また、数回ダウンロードした場合、フォルダ名の語尾に(1),(2)と付く場合があります。  
その場合は語尾の数字を削除してください。

例.R10.11\_0022(1)

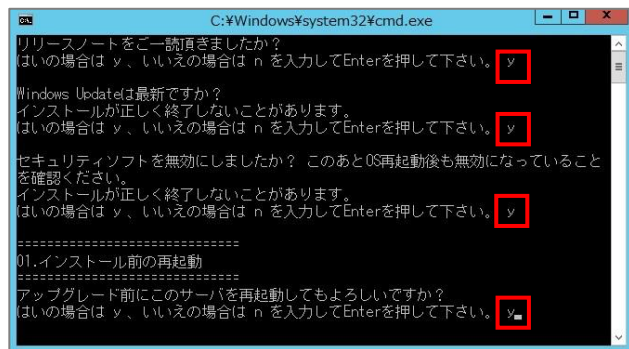


## 1. インストーラの実行

「R10.\_\*\*\_」フォルダ内の「start\_master.bat」をクリックします。

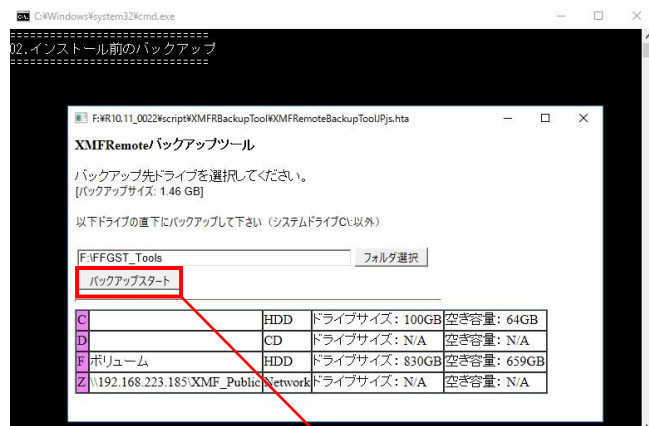


表示されたDOSウインドウ（黒いウインドウ）のメッセージに従い、キーボードの「y」または「n」を入力して、Enterを押してください。



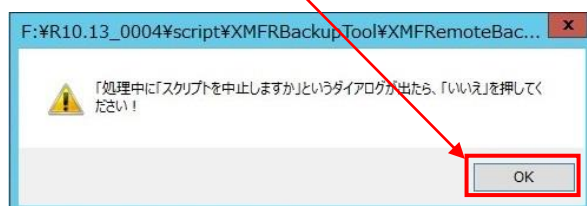
セキュリティによって上図が何度か表示が出る場合があります。全て、「実行(R)」を選択してください。

WindowsのOSが再起動され、バックアップ画面になります。保管場所に指定が無い場合は、「バックアップスタート」を押します。

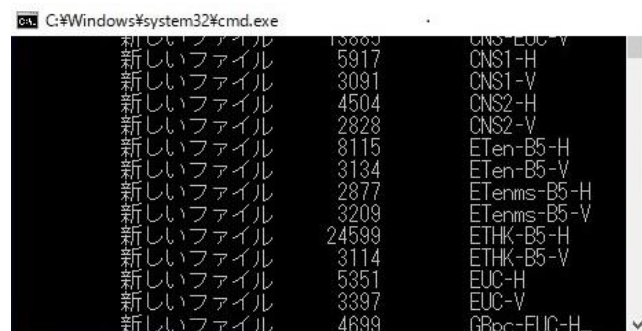


再起動により、セキュリティソフトが「有効」に戻ってしまうソフトもあります。再度「無効」になっている事をご確認ください。「無効」にできない場合は、作業を中止してください。

バージョンアップ前のバックアップが自動で実行されます。



バックアップ実行中 上図のメッセージが発生する場合があります。必ず「いいえ(N)」をクリックしてください。バックアップが中止されます。





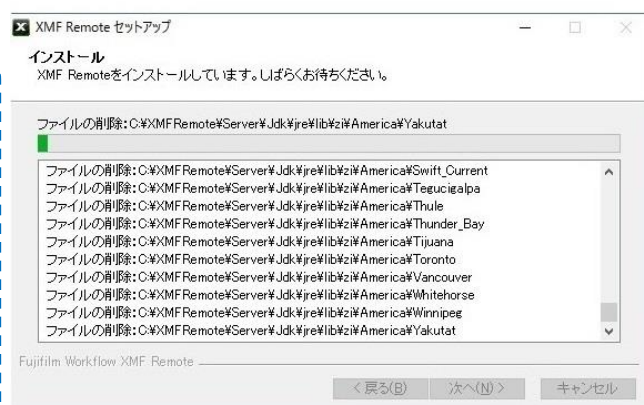
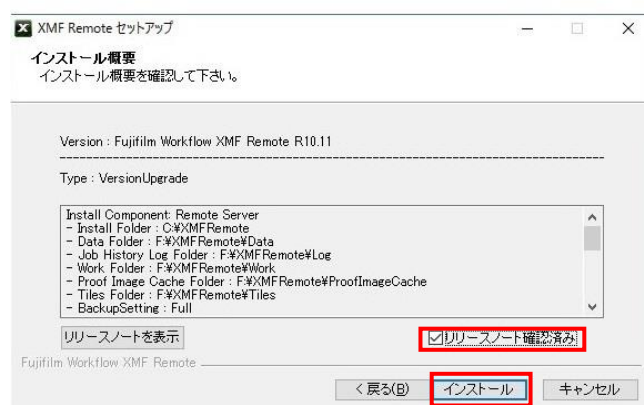
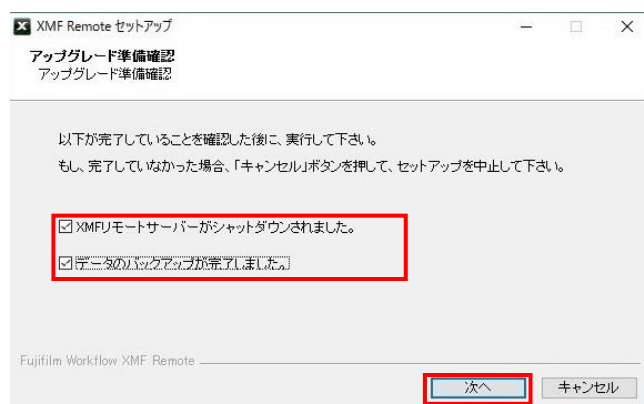
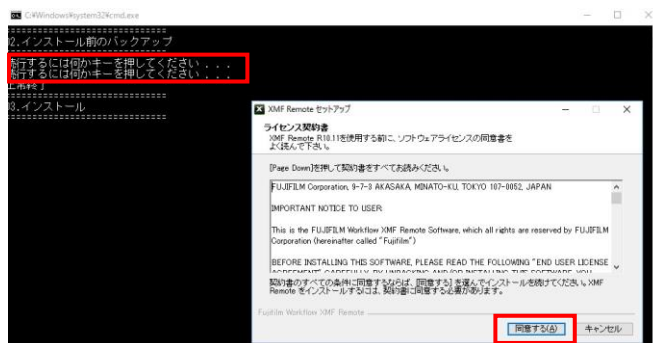
# XMFアップデータ バージョンアップ手順書：インストール

バックアップ後、「続行するには何かキーを押してください…」と表示するので、「Enterキー」などを押します。

右図の様に、「続行するには何かキーを押してください…」が2回表示されますので、2回「Enterキー」を押してください。

XMFRemoteセットアップ画面が表示されるので、「同意する(A)」を押してください。

XMFRemteのインストール画面が表示されます。各項目に☑を入れて進みます。



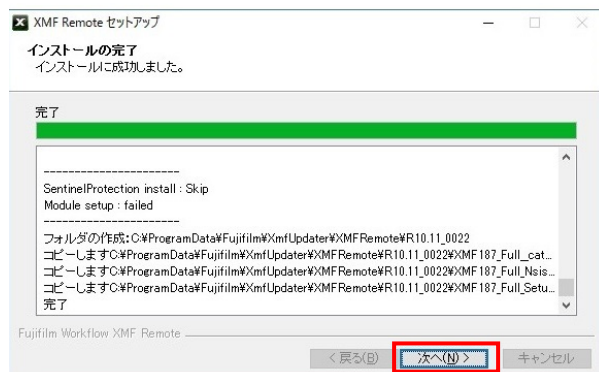
**i**  
インストール中以下の表示で止まる事があります。  
正常な挙動ですので完了するまでお待ちください。



# XMFアップデータ バージョンアップ手順書：インストール



警告で以下のエラーが発生する事がありますが、そのまま「OK」で進んでください。



必ず、「**後で手動で再起動する**」を選択して「完了」をクリックしてください。

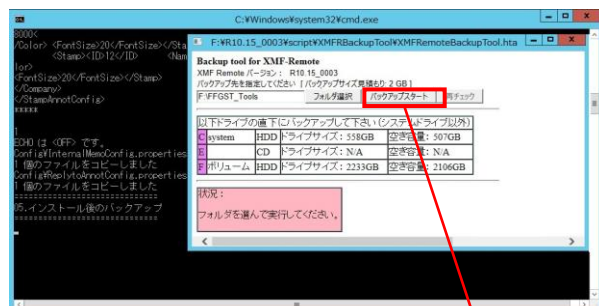


「**後で手動で再起動する**」を選択しないと、後処理パッチが実行されません。

「今すぐ...」を選択してしまった場合は、OSの再起動後「R10.\_\*\_」フォルダ内のInstallerの「Script」フォルダの「PostProcess.bat」をダブルクリックしてください。



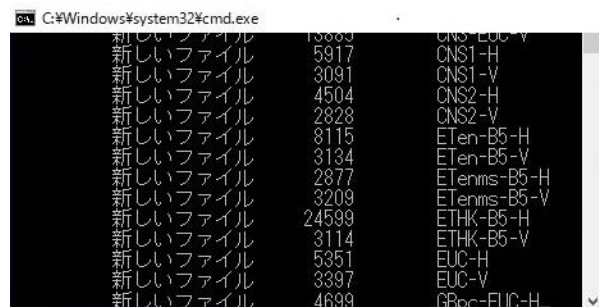
後処理パッチが実行され、インストール後のバックアップ画面になります。保管場所に指定が無い場合は、「バックアップスタート」を押します。



バージョンアップ前のバックアップが自動で実行されます。

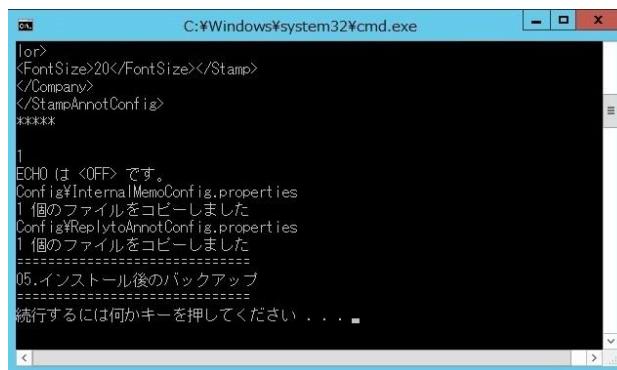


バックアップ実行中 上図のメッセージが発生する場合があります。必ず「**いいえ(N)**」をクリックしてください。バックアップが中止されます。

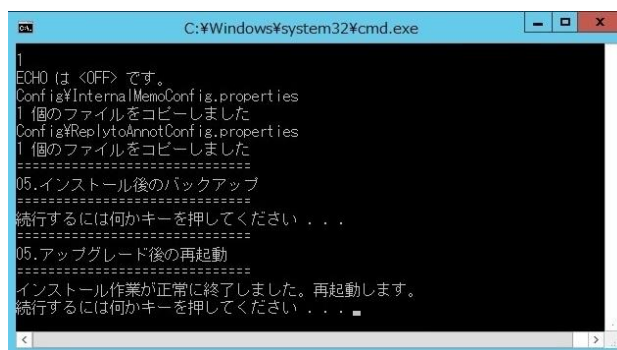


# XMFアップデータ バージョンアップ手順書：インストール

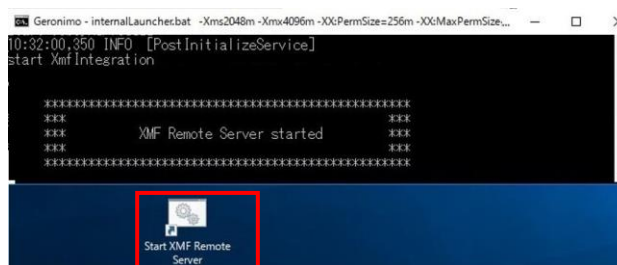
バックアップ後、「続行するには何かキーを押してください…」と表示するので、「Enterキー」などを押します。



OSの再起動のため、「続行するには何かキーを押してください…」と表示するので、「Enterキー」などを押します。



OS再起動後、XMFCComplete(Smart)を起動した後、「StartXMFRemoteServer.bat」をダブルクリックしてしてXMFRemoteServerを開始します。



XMFCComplete(Smart)Serverが起動していることを確認してから起動してください。

XMFRemoteを起動後、ログインして左上のマークから「XMFRemoteについて」をクリックしてバージョンが上がっている事を確認してください。

